2026年９月期　決算短信〔ＩＦＲＳ〕(連結)

2026年11月12日

上場会社名	GMOフィナンシャルゲート株式会社		上場取引所　東
コード番号	4051	URL	https://gmo-fg.com/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	杉山　憲太郎
問合せ先責任者	(役職名) 取締役　コーポレートサポート本部本部長	(氏名)	玉井　伯樹　(TEL) 03(6416)3881
定時株主総会開催予定日	2026年12月18日	配当支払開始予定日	2026年12月22日
有価証券報告書提出予定日	2026年12月17日		

決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	22,596	26.0	2,908	30.4	2,884	29.8	1,972	22.7	1,953	19.7	1,903	18.4
2025年９月期	17,927	△4.2	2,230	45.6	2,223	46.9	1,607	49.5	1,632	61.0	1,607	49.5

	基本的１株当たり当期利益	希薄化後１株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分当期利益率	資産合計税引前利益率	売上収益営業利益率
	円　銭	円　銭	%	%	%
2026年９月期	236.59	236.14	28.7	19.3	12.9
2025年９月期	197.49	197.08	27.5	15.9	12.4

(参考) 持分法による投資損益　2026年９月期　－百万円　2025年９月期　－百万円

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	１株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円　銭
2026年９月期	16,063	7,589	7,332	45.6	888.12
2025年９月期	13,832	6,494	6,256	45.2	757.88

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	2,526	△1,357	△652	4,774
2025年９月期	1,227	△898	△1,131	4,257

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	親会社所有者帰属持分配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	0.00	－	99.00	99.00	818	50.1	13.8
2026年９月期	0.00	0.00	0.00	131.00	131.00	1,083	55.4	15.9
2027年９月期(予想)	0.00	0.00	0.00	158.00	158.00		55.1	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	10,752	2.2	1,638	5.0	1,609	3.8	1,063	0.0	1,066	1.5	129.11
通　期	22,800	0.9	3,650	25.5	3,592	24.5	2,373	20.3	2,368	21.2	286.80

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	8,339,480株	2025年９月期	8,339,480株
②　期末自己株式数	2026年９月期	82,806株	2025年９月期	84,686株
③　期中平均株式数	2026年９月期	8,256,086株	2025年９月期	8,263,663株

（注）期末自己株式数には、株式給付信託（BBT及びJ-ESOP）の所有する当社株式が含まれております。

（参考）　個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	21,996	26.8	2,353	19.9	2,608	23.9	1,765	11.3
2025年９月期	17,346	△3.8	1,962	81.7	2,105	72.8	1,586	72.2

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円　銭	円　銭
2026年９月期	213.85	ー
2025年９月期	192.00	ー

（注）潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
2026年９月期	15,442	7,210	46.7	873.25
2025年９月期	13,292	6,251	47.0	757.31

（参考）自己資本　　2026年９月期　　7,210百万円　　2025年９月期　　6,251百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】４ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……2
（１）当期の経営成績の概況 ……2
（２）当期の財政状態の概況 ……3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 ……3
（４）今後の見通し ……4
（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 ……4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 ……5
３．連結財務諸表及び主な注記 ……6
（１）連結財政状態計算書 ……6
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 ……8
（３）連結持分変動計算書 ……10
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 ……12
（継続企業の前提に関する注記）……12
（セグメント情報等）……12
（１株当たり情報）……12
（企業結合等関係）……13
（重要な後発事象）……14

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社グループが判断したものです。

当連結会計年度（2025年10月１日～2026年９月30日）の業績は以下のとおりです。

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）	増減率(%)
売上収益	17,927,780	22,596,320	26.0
営業利益	2,230,646	2,908,922	30.4
税引前利益	2,223,045	2,884,525	29.8
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,632,030	1,953,312	19.7

a.売上収益

売上収益は22,596,320千円(前年同期比26.0%増)となりました。

当連結会計年度は、日常的に利用する業種・業態の加盟店において当社キャッシュレスプラットフォームの採用が継続的に進んだことに加え、大手商業施設の本格稼働も寄与し、当社の主要KPIである決済処理件数及びGMV（決済処理金額）が順調に拡大いたしました。

リカーリング型売上においては、大手商業施設のプロジェクトが予定どおり進み、端末の稼働が順調に拡大したことに加え、ドラッグストア等の生活領域加盟店の決済アクティビティが継続的に伸長し、ストック、フィーが着実に拡大いたしました。スプレッドについては、SME（中小規模加盟店）領域に加え、レジャー・アミューズメント領域、コインパーキング、調剤薬局等、幅広い業種・業態の加盟店獲得が順調に進み、着実に成長を遂げることができました。

イニシャル売上の大部分を占める決済端末販売においては、大口案件の前倒しや、大手商業施設向け端末納入が継続したことに加え、SME（中小規模加盟店）領域の加盟店獲得が順調に進み、前連結会計年度比で増加いたしました。

当連結会計年度の品目別売上は以下のとおりです。リカーリング型はストック、フィー及びスプレッドの合計であり、括弧書きの数字はリカーリング型の内訳となります。

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）	増減率(%)
リカーリング型	8,943,507	11,191,871	25.1
ストック	(2,107,557)	(2,562,897)	(21.6)
フィー	(5,261,927)	(6,703,502)	(27.4)
スプレッド	(1,574,021)	(1,925,471)	(22.3)
イニシャル	8,984,272	11,404,449	26.9
合計	17,927,780	22,596,320	26.0

b.営業利益

営業利益は2,908,922千円(前年同期比30.4%増)となりました。

前連結会計年度との比較では、プラス要因として、決済処理件数及びGMV（決済処理金額）の拡大に伴い利益貢献度の高いリカーリング型売上が伸長したことに加え、大手商業施設向け端末納入の継続、及びSME（中小規模加盟店）領域における加盟店獲得の進展によりイニシャル売上が増加したこと、マイナス要因としては、利益率の高い開発売上が前連結会計年度と比較すると減少したことが挙げられます。

c.税引前利益

税引前利益は2,884,525千円(前年同期比29.8%増)となりました。

（２）当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は12,493,217千円となり、前連結会計年度末に比べ1,640,565千円増加いたしました。これは主に現金及び現金同等物が516,819千円、棚卸資産が512,392千円、その他の流動資産が486,622千円増加したこと等によるものです。なお、棚卸資産の増加は、今後見込まれる大口案件の納品に備え戦略的に在庫を積み増したことによるものです。非流動資産は3,570,606千円となり、前連結会計年度末に比べ590,774千円増加いたしました。これは主にのれん及び無形資産が681,166千円増加したこと等によるものです。

この結果、資産合計は16,063,823千円となり、前連結会計年度末に比べ2,231,340千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は6,426,797千円となり、前連結会計年度末に比べ1,140,320千円増加いたしました。これは主にその他の流動負債が601,637千円、未払法人所得税等が416,764千円増加したこと等によるものです。非流動負債は2,047,212千円となり、前連結会計年度末に比べ4,447千円減少いたしました。これは主にその他の金融負債が3,398千円、繰延税金負債が1,424千円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は8,474,009千円となり、前連結会計年度末に比べ1,135,873千円増加いたしました。

(資本)

当連結会計年度末における資本合計は7,589,813千円となり、前連結会計年度末に比べ1,095,466千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当により817,224千円減少した一方で、当期利益1,972,022千円を計上し増加したこと等によるものです。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」と言う。)は前連結会計年度末に比べ516,819千円増加し4,774,094千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果、獲得した資金は2,526,162千円(前年同期は1,227,440千円の獲得)となりました。これは主に法人所得税の支払額582,688千円、棚卸資産の増加512,392千円、その他の資産の増加476,534千円等により資金が減少した一方で、税引前利益の計上2,884,525千円、減価償却費及び償却費の計上758,990千円、その他の負債の増加601,722千円等により資金が増加したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果、使用した資金は1,357,205千円(前年同期は898,862千円の使用)となりました。これは主に無形資産の取得による支出1,219,520千円等により資金が減少したものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果、使用した資金は652,137千円(前年同期は1,131,759千円の使用)となりました。これは主に短期借入金の増加300,000千円等により資金が増加した一方で、配当金の支払額819,359千円、リース負債の返済による支出128,538千円等により資金が減少したものです。

（４）今後の見通し

当社グループが立脚する対面キャッシュレス決済市場においては、行政による推進や決済手段の多様化も追い風として、キャッシュレス化の動きが継続いたしました。今後も、政府が掲げる将来的なキャッシュレス決済比率80%の目標に向けて、市場の拡大が期待されます。

そのような環境の下、当社グループは、加盟店のニーズに合った決済端末機器の販売、決済処理センターの増強、加盟店及びアライアンス先の新規獲得等に注力するとともに、当社グループが推進する決済エコシステム（対面キャッシュレスプラットフォームを中核とし、店舗向けDXソリューション等の周辺機能を含む領域）の拡充を通じて、加盟店への提供価値の最大化を図り、中長期的な利益成長を継続することを目指しております。

2027年９月期の連結業績予想につきましては、売上収益22,800百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益3,650百万円（前年同期比25.5%増）、税引前利益3,592百万円（前年同期比24.5%増）、当期利益2,373百万円（前年同期比20.3%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益2,368百万円（前年同期比21.2%増）を見込んでおります。

売上収益面では、当連結会計年度に獲得した大型商業施設の本格稼働に加え、日常的に利用する業種・業態の加盟店における決済アクティビティの拡大及び新規加盟店の獲得により、リカーリング型売上の着実な成長を見込んでおります。一方で、イニシャル売上については、当連結会計年度に大型商業施設向け案件が集中した影響、2027年９月期に予定していた大口案件の当連結会計年度への前倒しにより、反動減を見込んでおります。

利益面では、利益率の高いリカーリング型売上の売上構成割合向上、外部委託費用の削減やAI活用による自動化・効率化推進も含め、適切な費用管理により、高水準の成長を実現してまいります。

（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主還元を経営上の重要な課題と認識しており、業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案した上で、安定的かつ継続的な配当を実施する方針です。

この基本方針のもと、調整後利益（親会社の所有者に帰属する当期利益にキャッシュフローを伴うその他の包括利益を加算）に対する配当性向を55%以上とし、加えて、株主資本の効率的な活用を重視する観点から、DOE（調整後親会社所有者帰属持分配当率）10%を下限指標として新たに設定いたします。DOEの算定においては、親会社の所有者に帰属する持分からその他の資本の構成要素を除外した調整後の数値を基に、期首・期末の平均値を用います。

当期の配当につきましては、2026年９月10日の公表において、2026年９月期の期末配当金を１株あたり127円に増配しておりましたが、利益面での当期の業績が予想として開示した数値を上回る見込みとなったことから、当社における株主の皆様への利益還元の基本方針に鑑み、期末配当金を従前予想より１株につきさらに4円増配し、131円に修正することを予定(注)しております。

次期の配当につきましては、調整後利益（親会社の所有者に帰属する当期利益にキャッシュフローを伴うその他の包括利益を加算）に対する配当性向55%以上に基づく配当額と、DOE10%に基づく配当額のいずれか高い方とする配当方針に基づき、１株当たり配当金は158円を予想しております。

(注) 本件は、2026年11月16日開催予定の当社取締役会にて決議する予定です。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上や、中長期的なグループ経営管理基盤の高度化等を目的とし、2024年９月期の有価証券報告書における連結財務諸表から、従来の日本基準に替えて国際会計基準（IFRS）を任意適用しております。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結財政状態計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,257,275	4,774,094
営業債権及びその他の債権	2,484,263	2,624,721
棚卸資産	3,197,593	3,709,985
未収法人所得税等	15,987	－
その他の金融資産	12,928	13,189
その他の流動資産	884,602	1,371,225
流動資産合計	10,852,651	12,493,217
非流動資産		
有形固定資産	329,906	183,102
のれん及び無形資産	1,867,607	2,548,774
その他の金融資産	275,230	180,671
繰延税金資産	486,588	647,646
その他の非流動資産	20,499	10,411
非流動資産合計	2,979,832	3,570,606
資産合計	13,832,483	16,063,823

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	3,193,306	3,132,025
借入金	－	300,000
その他の金融負債	129,633	4,033
未払法人所得税等	292,786	709,551
引当金	497,000	505,800
その他の流動負債	1,173,749	1,775,387
流動負債合計	5,286,476	6,426,797
非流動負債		
借入金	2,000,000	2,000,000
その他の金融負債	10,863	7,465
引当金	29,416	29,816
繰延税金負債	1,424	－
その他の非流動負債	9,954	9,930
非流動負債合計	2,051,659	2,047,212
負債合計	7,338,136	8,474,009
資本		
資本金	1,638,680	1,638,680
資本剰余金	1,810,440	1,807,607
利益剰余金	3,418,390	4,554,478
自己株式	△611,391	△599,414
その他の資本の構成要素	－	△68,476
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,256,119	7,332,876
非支配持分	238,227	256,937
資本合計	6,494,347	7,589,813
負債及び資本合計	13,832,483	16,063,823

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	17,927,780	22,596,320
売上原価	△11,320,113	△14,811,875
売上総利益	6,607,666	7,784,444
販売費及び一般管理費	△4,350,478	△5,030,849
その他の収益	22,727	155,739
その他の費用	△49,268	△412
営業利益	2,230,646	2,908,922
金融収益	11,088	19,446
金融費用	△18,689	△43,844
税引前利益	2,223,045	2,884,525
法人所得税費用	△615,483	△912,502
当期利益	1,607,562	1,972,022
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,632,030	1,953,312
非支配持分	△24,468	18,709
当期利益	1,607,562	1,972,022
１株当たり当期利益（円）		
基本的１株当たり当期利益	197.49	236.59
希薄化後１株当たり当期利益	197.08	236.14

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期利益	1,607,562	1,972,022
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	－	△68,476
純損益に振り替えられることのない項目合計	－	△68,476
税引後その他の包括利益	－	△68,476
当期包括利益	1,607,562	1,903,546
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,632,030	1,884,836
非支配持分	△24,468	18,709
当期包括利益	1,607,562	1,903,546

（３）連結持分変動計算書

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

（単位：千円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2024年10月１日時点の残高	1,638,680	1,810,751	2,302,216	△123,703	5,627,943	262,695	5,890,639
当期利益	－	－	1,632,030	－	1,632,030	△24,468	1,607,562
当期包括利益	－	－	1,632,030	－	1,632,030	△24,468	1,607,562
自己株式の取得	－	△998	－	△499,665	△500,663	－	△500,663
配当金	－	－	△515,856	－	△515,856	－	△515,856
株式報酬取引	－	687	－	11,977	12,664	－	12,664
所有者との取引額合計	－	△311	△515,856	△487,687	△1,003,855	－	△1,003,855
2025年９月30日時点の残高	1,638,680	1,810,440	3,418,390	△611,391	6,256,119	238,227	6,494,347

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

（単位：千円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2025年10月１日時点の残高	1,638,680	1,810,440	3,418,390	△611,391	－	6,256,119	238,227	6,494,347
当期利益	－	－	1,953,312	－	－	1,953,312	18,709	1,972,022
その他の包括利益	－	－	－	－	△68,476	△68,476	－	△68,476
当期包括利益	－	－	1,953,312	－	△68,476	1,884,836	18,709	1,903,546
配当金	－	－	△817,224	－	－	△817,224	－	△817,224
株式報酬取引	－	△2,832	－	11,977	－	9,145	－	9,145
所有者との取引額合計	－	△2,832	△817,224	11,977	－	△808,079	－	△808,079
2026年９月30日時点の残高	1,638,680	1,807,607	4,554,478	△599,414	△68,476	7,332,876	256,937	7,589,813

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	2,223,045	2,884,525
減価償却費及び償却費	631,596	758,990
減損損失	19,361	－
固定資産除却損	0	－
株式報酬費用	12,664	9,145
引当金の増減額（△は減少）	233,973	8,800
金融収益及び金融費用（△は益）	7,600	24,397
棚卸資産の増減額（△は増加）	△27,488	△512,392
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	682,163	△140,457
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△497,051	△17,519
その他の資産の増減（△は増加）	△672,046	△476,534
その他の負債の増減（△は減少）	△534,203	601,722
その他	△650	△6,192
小計	2,078,966	3,134,484
利息及び配当金の受取額	6,744	14,010
利息の支払額	△14,447	△39,644
法人所得税の支払額	△843,821	△582,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,227,440	2,526,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△129,762	△9,285
無形資産の取得による支出	△721,945	△1,219,520
敷金の差入による支出	△47,155	－
企業結合による支出	－	△128,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△898,862	△1,357,205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	300,000
リース負債の返済による支出	△107,305	△128,538
自己株式の取得による支出	△500,663	－
配当金の支払額	△516,567	△819,359
その他	△7,224	△4,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,131,759	△652,137
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△803,182	516,819
現金及び現金同等物の期首残高	5,060,458	4,257,275
現金及び現金同等物の期末残高	4,257,275	4,774,094

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、対面決済サービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（１株当たり情報）

(1) 基本的１株当たり当期利益の算定上の基礎

基本的１株当たり当期利益及びその算定上の基礎は、以下のとおりです。

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
親会社の普通株主に帰属する当期利益		
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,632,030	1,953,312
親会社の普通株主に帰属しない当期利益	－	－
基本的１株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,632,030	1,953,312
期中平均普通株式数	8,263,663株	8,256,086株
基本的１株当たり当期利益	197.49円	236.59円

（注）　BBT信託及びJ-ESOP信託が所有する当社株式(前連結会計年度17,543株、当連結会計年度15,627株)は、期中平均普通株式数から控除しております。

(2) 希薄化後１株当たり当期利益の算定上の基礎

希薄化後１株当たり当期利益及びその算定上の基礎は、以下のとおりです。

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
希薄化後の普通株主に帰属する利益		
基本的１株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,632,030	1,953,312
当期利益調整額	－	－
希薄化後１株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,632,030	1,953,312
期中平均普通株式数	8,263,663株	8,256,086株
希薄化効果の影響	17,543株	15,627株
希薄化効果の調整後	8,281,206株	8,271,713株
希薄化後１株当たり当期利益	197.08円	236.14円

（注）　BBT信託及びJ-ESOP信託が所有する当社株式(前連結会計年度17,543株、当連結会計年度15,627株)は、潜在的株式として希薄化効果に含めております。

(企業結合等関係)

(会社分割(簡易吸収分割)による店舗向けDXソリューション事業の承継)

（１）取引の概要等

2025年８月８日に当社及びTakeMe株式会社(以下、「TakeMe」と言う。)間で締結した取引契約に基づく一連の取引を実施することにより、当社は2025年10月１日付で吸収型会社分割によりTakeMeが営む飲食店オペレーション支援・モバイルオーダー事業に関して有する権利義務を承継しました(以下、「本会社分割」と言う。)。本会社分割は、当社グループが提供するキャッシュレスプラットフォームの更なる進化を実現するものであり、加盟店へのサービス価値向上を、ひいては当社グループの中長期的な企業価値の向上を目的としております。

（２）本会社分割の主たる内容

①本会社分割の概要

分割会社 TakeMe株式会社

承継事業 TakeMeが営む店舗向けDXソリューション事業

事業内容 飲食店オペレーション支援・モバイルオーダーシステム向けの提供

②支配獲得日

2025年10月１日

③取得対価

現金　128,400千円　A

④取得関連費用

販売費及び一般管理費　16,228千円

⑤支配獲得日における資産の公正価値及びのれん

（単位：千円）

	支配獲得日 (2025年10月１日)	
無形資産（注）２	39,135	
繰延税金資産	28,136	
資産合計	67,271	B
のれん（注）３	61,128	A－B

（注）１．上記の金額は、第１四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定しておりましたが、第２四半期連結会計期間末において確定しています。この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。

２．無形資産には、ソフトウェア29,977千円と顧客関連資産9,157千円が含まれております。ソフトウェア及び顧客関連資産は企業結合により識別した無形資産であり、見積耐用年数はそれぞれ５年及び15年です。また、ソフトウェアは再調達原価、陳腐化率等の仮定に基づいて測定し、顧客関連資産は見積将来キャッシュ・フロー、割引率、既存顧客の逓減率から生み出される将来売上収益等の仮定に基づいて測定しています。

３．のれんは、今後の事業展開により期待される将来の超過収益力を反映したものです。

⑥被取得企業の売上収益及び当期利益

連結損益計算書に与える影響は軽微であるため、記載は省略いたします。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。